

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療総合学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	シニアリハビリ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	後期	教室名	405、他
担 当 教 員	阿守 勇介	実務経験と その関連資格	病院リハビリテーション科勤務 姉妹校にて健康づくり指導者養成校教員として勤務			
《授業科目における学習内容》						
介護予防運動の一環として、集団運動を実践的に学び、企画及び実行ができることを目標とする。 また、高齢者を対象とした運動方法の為、高齢者の医学(身体・疾患 等)も合わせて復習を行う。						
《成績評価の方法と基準》						
1、定期試験または実技試験;70% 2、出席評価点:20% 3、平常点(授業態度・レポート):10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
配布資料						
《授業外における学習方法》						
解剖学・運動生理学・高齢者に多い疾患について復習しておく。						
《履修に当たっての留意点》						
特に福祉業界において必須となる集団運動。高齢者を対象とした運動となる為、リスクについて考えることも重要である						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	介護予防運動における現場の実際が理解できる	配布資料	特になし	
		各コマにおける授業予定	現場の実際、高齢者の身体の復習			
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	集団運動を体験し、運動の実際を知る	配布資料	前回の講義について理解していること	
		各コマにおける授業予定	集団運動体験①			
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	集団運動を体験し、運動の実際を知る	配布資料	前回の講義について理解していること	
		各コマにおける授業予定	集団運動体験②			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	集団運動を体験し、運動方法を覚える	配布資料	前回の講義について理解していること	
		各コマにおける授業予定	集団運動体験③			
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	体験した集団体操を実践指導してみる	配布資料	前回の講義について理解していること	
		各コマにおける授業予定	集団運動指導			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	集団運動のプログラム作成方法を学ぶ	配布資料	前回の講義について理 解していること
		各コマに おける 授業予定	集団運動プログラム作成方法を学ぶ		
第7回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	集団運動プログラム作成①	配布資料	前回の講義について理 解していること
		各コマに おける 授業予定	プログラム作成		
第8回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	集団運動プログラム作成①	配布資料	前回の講義について理 解していること
		各コマに おける 授業予定	プログラム作成		
第9回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	集団運動プログラムの実践	配布資料	前回の講義について理 解していること
		各コマに おける 授業予定	プログラムの実践と振り返り		
第10回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	集団運動プログラム作成②	配布資料	前回の講義について理 解していること
		各コマに おける 授業予定	プログラム作成		
第11回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	集団運動プログラム作成②	配布資料	前回の講義について理 解していること
		各コマに おける 授業予定	プログラム作成		
第12回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	集団運動プログラムの実践	配布資料	前回の講義について理 解していること
		各コマに おける 授業予定	プログラムの実践と振り返り		
第13回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	集団運動プログラム作成③	配布資料	前回の講義について理 解していること
		各コマに おける 授業予定	プログラム作成		
第14回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	集団運動プログラム作成③	配布資料	前回の講義について理 解していること
		各コマに おける 授業予定	プログラム作成		
第15回	講義 演習形式	授業を 通じての 到達目標	集団運動プログラムの実践	配布資料	前回の講義について理 解していること
		各コマに おける 授業予定	プログラムの実践と振り返り		